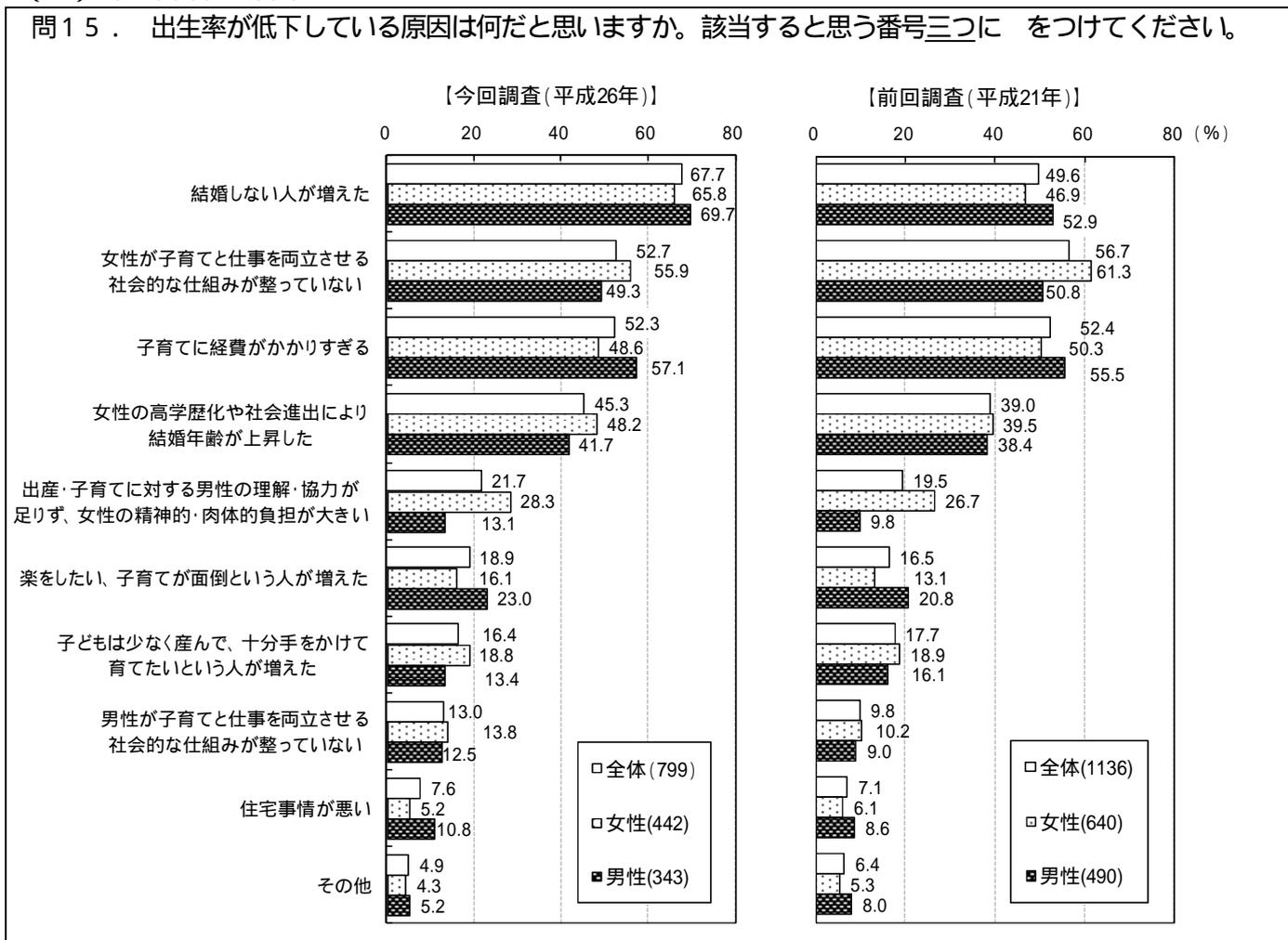


8. 少子・高齢化

(1) 出生率低下の原因

問15. 出生率が低下している原因は何だと思いますか。該当すると思う番号三つにをつけてください。



出生率が低下している原因としては、男性も女性も『結婚しない人が増えた』(女性 65.8%、男性 69.7%)と回答した割合が最も高い。

次いで、女性では『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』(女性 55.9%、男性 49.3%)と回答した割合が高くなっており、この項目では女性が男性より6.6ポイント高くなっている。

男性で2番目に回答した割合が高かったのは『子育てに経費がかかりすぎる』(男性 57.1%、女性 48.6%)で、この項目では、男性が女性より8.5ポイント高くなっている。

特に男女差がみられるものとして、『出産・子育てに対する男性の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい』(女性 28.3%、男性 13.1%)では、男性より女性の方が15.2ポイント高くなっている。

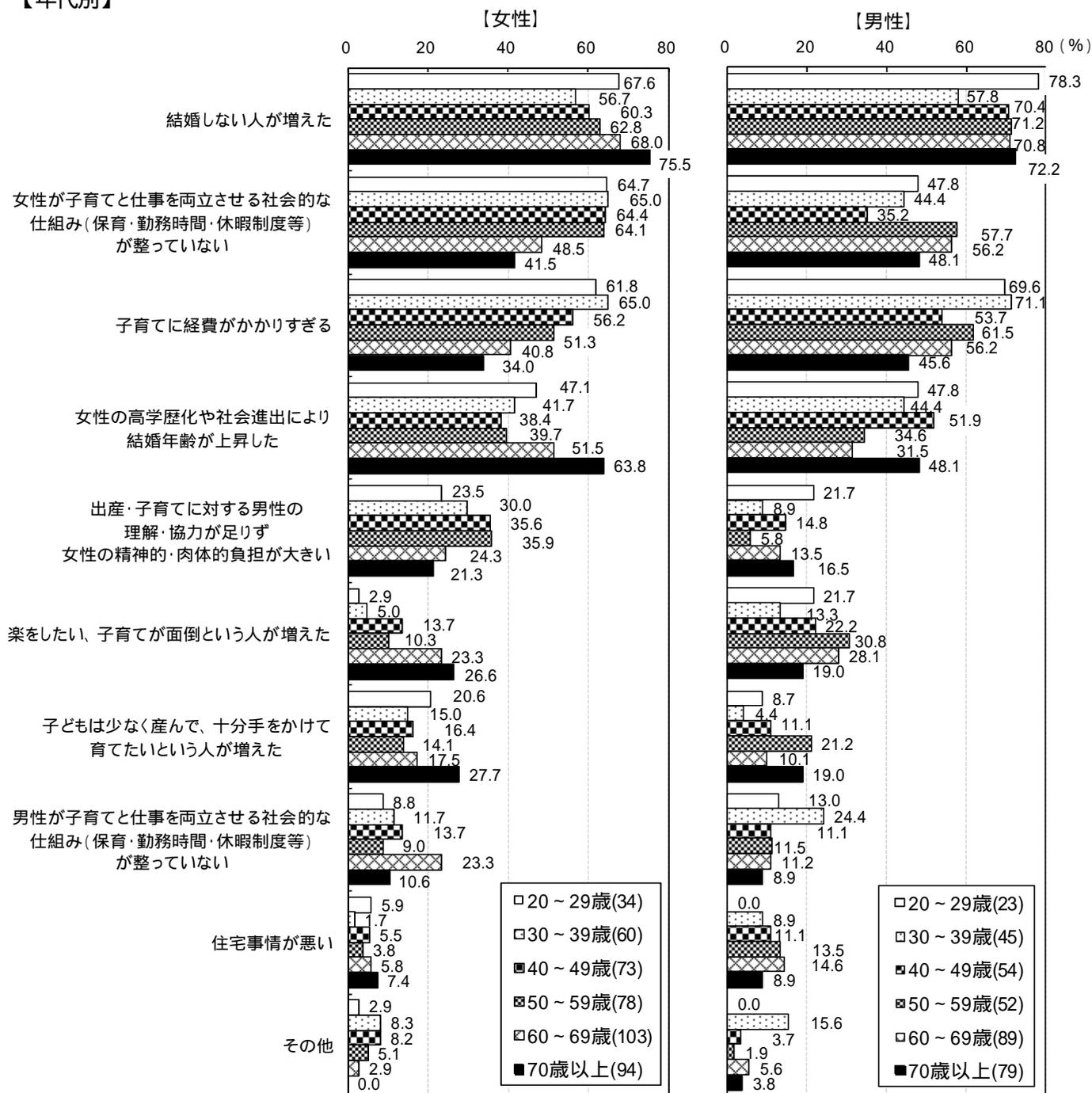
【前回調査(平成21年)との比較】

平成21年に実施した前回調査と比較すると、『結婚しない人が増えた』という回答が男女ともに大幅に増加している。

『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』は前回より減少しているが、『男性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』は男女とも前回より増加している。

少子・高齢化

【年代別】



年代別に見ると、『女性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』が、50代以下の年代で女性が男性より多くなっており、特に40代では、女性(64.4%)と男性(35.2%)の差が29.2ポイントと大きくなっている。

一方、『男性が子育てと仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていない』は、30代男性と60代女性でそれぞれ24.4%、23.3%と、他の年代に比べて回答した割合が高くなっている。

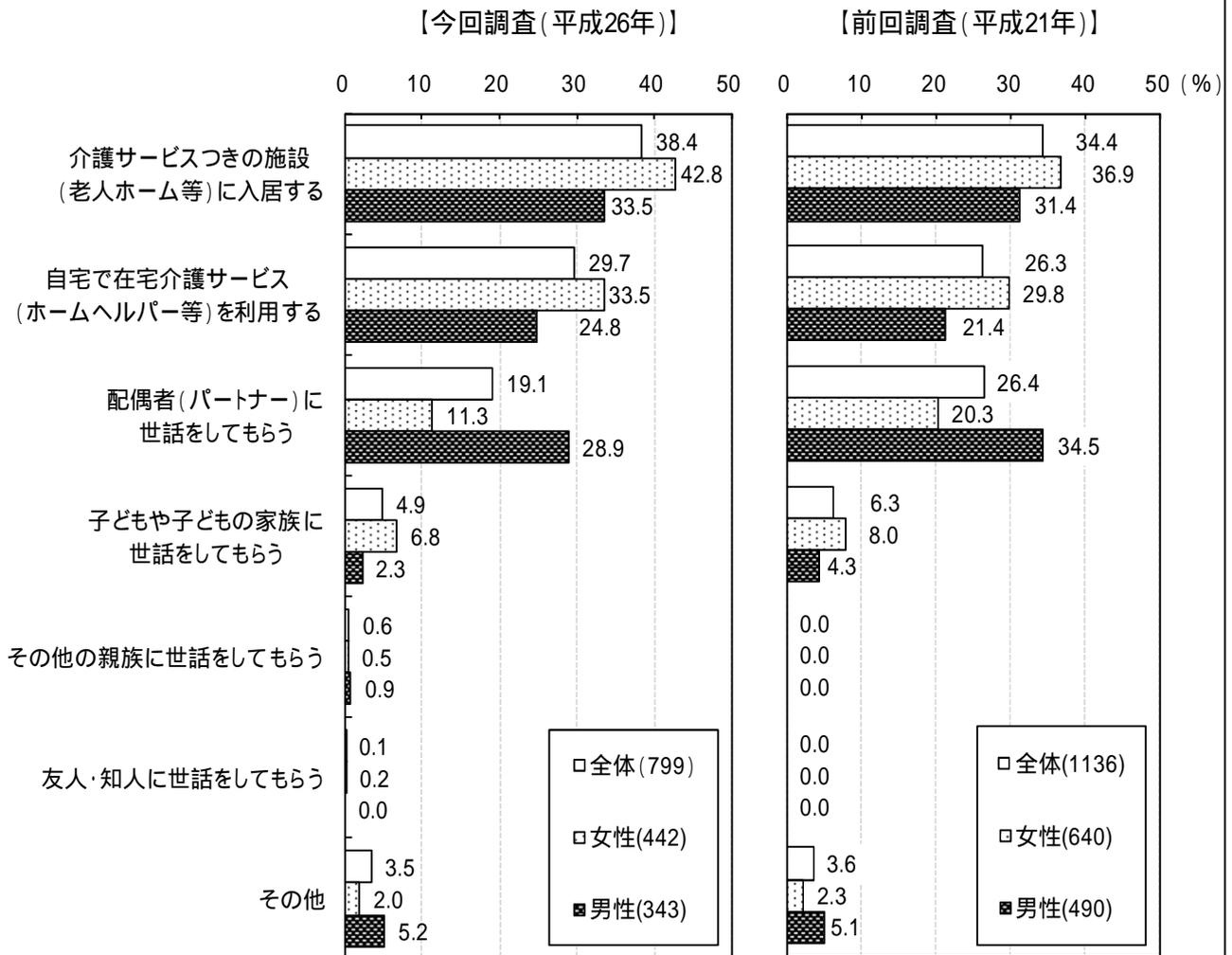
『子育てに経費がかかりすぎる』は若い世代ほど回答した割合が高く、特に20代、30代は男女とも6割以上にのぼっている。

『出産・子育てに対する男性の理解・協力が足りず、女性の精神的・肉体的負担が大きい』は、全ての年代で女性が男性を上回っており、特に30代から50代で、女性と男性の差が20ポイント以上と、男女差が大きくなっている。

少子・高齢化

(2) 介護が必要になった時の対応

問16. あなたが、もし介護が必要になった時は主にどうしたいと思いますか。該当する番号ひとつをつけてください。 現在既に介護を受けている方もお答え下さい。



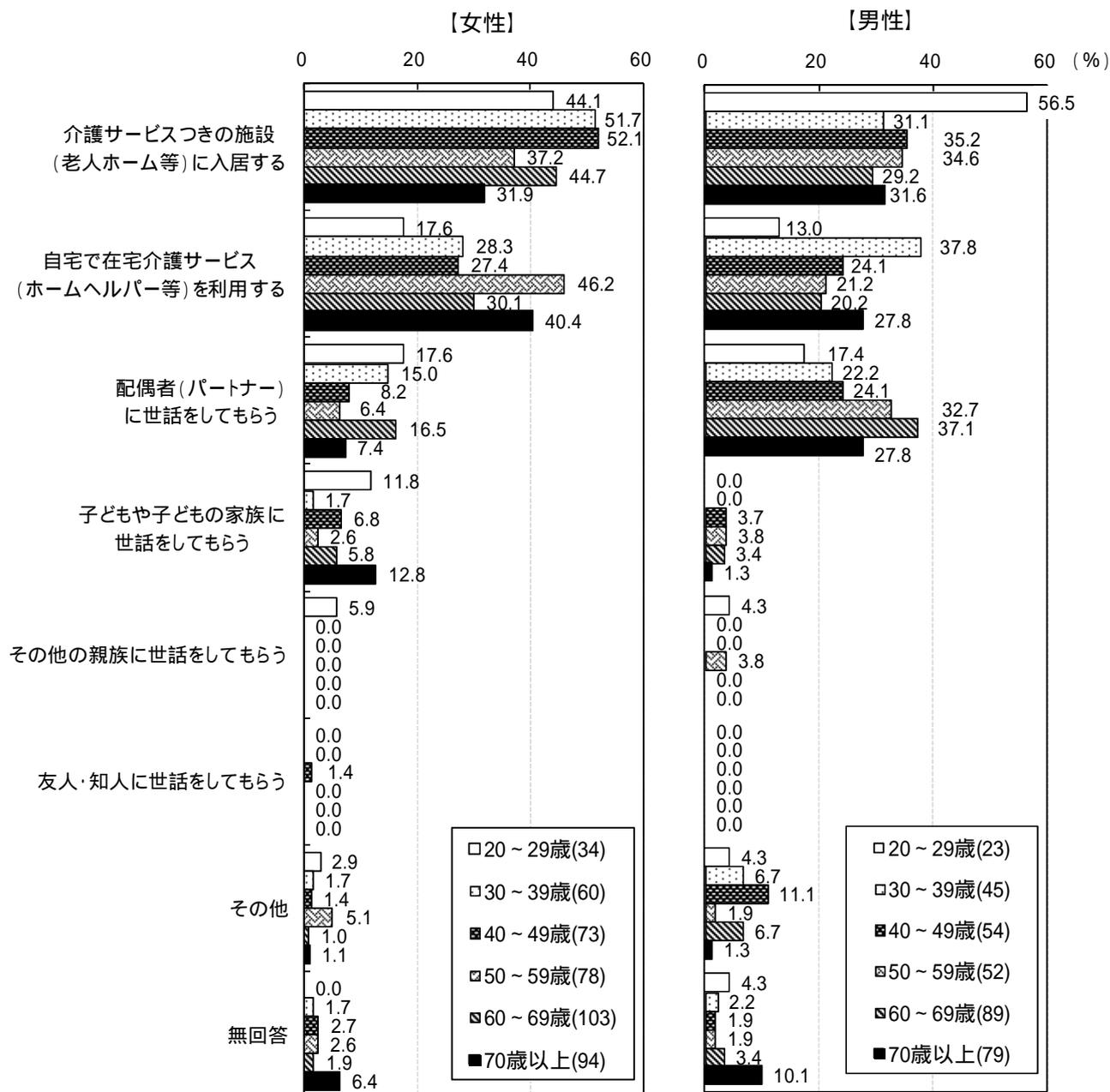
高齢になって介護が必要になった時の対応としては、男性も女性も『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と回答している割合(女性42.8%、男性33.5%)が最も高い。次いで女性が『自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する』(33.5%)、男性が『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』(28.9%)となっている。『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』は、女性(11.3%)に比べて男性(28.9%)が17.6ポイント高くなっている。

【前回調査(平成21年)との比較】

平成21年に実施した調査と比較すると、『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と『自宅で在宅介護サービス(ホームヘルパー等)を利用する』が増加する一方、『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』が女性で9.0ポイント、男性で5.6ポイント減少し、男性では『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』と『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』の順位が逆転した。

少子・高齢化

【年代別】



年代別にみると、『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と回答している割合は、女性では30代と40代(30代51.7%、40代52.1%)で特に高い。また、20代をのぞいて男性より女性の方が高くなっているが、20代男性は56.5%と全年代の中で最も高くなっている。

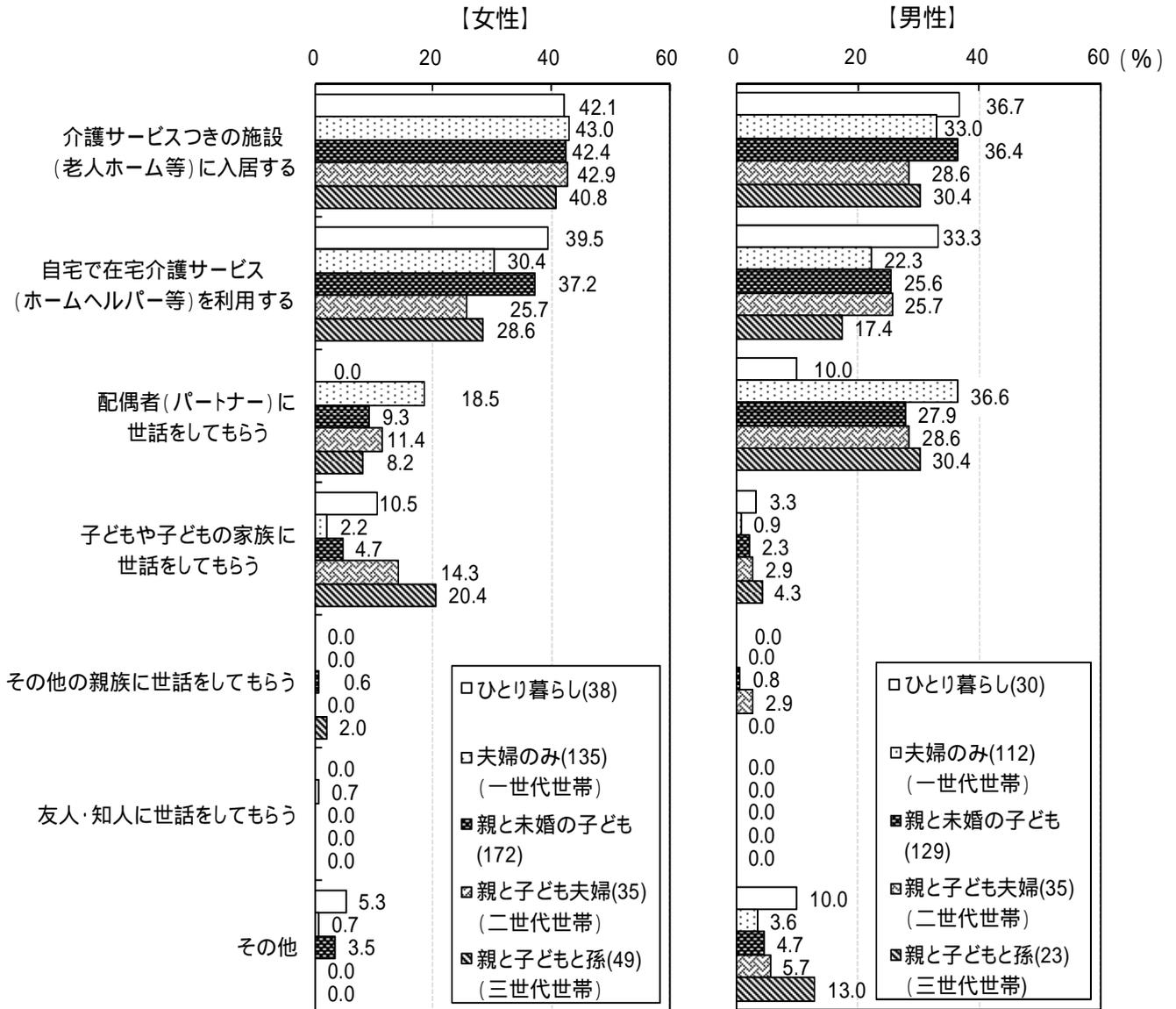
『自宅で在宅介護サービスを利用する』においては、女性では50代(46.2%)と70歳以上(40.4%)、男性では30代(37.8%)が高くなっている。

一方、『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』では、20代をのぞいて女性より男性の方が高く、特に50代では、男性の32.7%に対し、女性は6.4%と男性が女性よりも26.3ポイント高くなっている。

『子どもや子どもの家族に世話をしてもらう』は、20代と70歳以上の女性で特に高くなっており、50代をのぞいて、女性の方が回答した割合が高くなっている。

少子・高齢化

【世帯構成別】



世帯構成別にみると、『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と回答している割合は、どの世帯構成でも男性より女性の方が高くなっている。女性は世帯構成に関係なく『介護サービス付きの施設(老人ホーム等)に入居する』と回答した割合が高いが、男性では、「ひとり暮らし」(36.7%)と「親と未婚の子ども」(36.4%)で比較的多いものの、「親と子ども夫婦(二世帯世帯)」(28.6%)などでは低くなっている。

『配偶者(パートナー)に世話をしてもらう』と回答している割合は、どの世帯構成でも女性より男性の方が高く、男女とも「夫婦のみ」が最も高くなっている(女性18.5%、男性36.6%)。

『子どもや子どもの家族に世話をしてもらう』と回答している割合は、どの世帯構成でも女性の方が高く、特に「親と子どもと孫(三世帯世帯)」で20.4%と最も高くなっている。